

財団法人古河市体育協会賛助会員募集趣意書

古河市体育協会は昭和21年に創設され、平成2年7月1日「財団法人古河市体育協会」として、発足以来、体育運動を振興して市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、もって健康で明るい市民生活の向上発展に寄与することを目的に掲げ、これまで市民の健康・体力づくり、青少年の健全育成に名実共に発展してまいりました。

平成23年7月で財団設立より丸22年が経とうとしております。

平成17年9月には「新古河市」が誕生し、当協会も平成21年4月に「古河地区・総和地区・三和地区」の体育協会が統合し、『14万余市民の体協』としてその責務を担うこととなりました。

多様化する社会生活の中で、いまや生活習慣病、メタボリックシンドロームなど健康に関する問題が山積しております。そこで市民が生涯、健康で明るく過ごすためにはスポーツの効用は計り知れず、このことは、当協会に課せられた大きな使命と認識しております。

しかしながら、当協会のスポーツ事業は古河市からの委託費の収入で賄っているのが現状ですが、当協会としては、その市民の多様なニーズに十分に応えるためと、さらに充実した事業を行っていくためにも自主財源の確保をしなければなりません。

つきましては、以上の現状と当協会の趣旨をご理解のうえ、更なるスポーツ振興の見地から、賛助会員の加入による会費のご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月吉日

財団法人古河市体育協会
会長 白戸 伸久
(公印省略)